

2019年度事業者防災訓練 課題対応資料

1. 2019年度訓練で確認された課題

下記のカテゴリーに分類し、それぞれに対する原因分析、対策案を表1に示す。

- (1) 緊対所の情報共有
- (2) E R Cとの情報共有
- (3) 避難誘導（避難者へのスクリーニング）
- (4) 防護処置（発災場所）

2. 情報フローについての自己評価

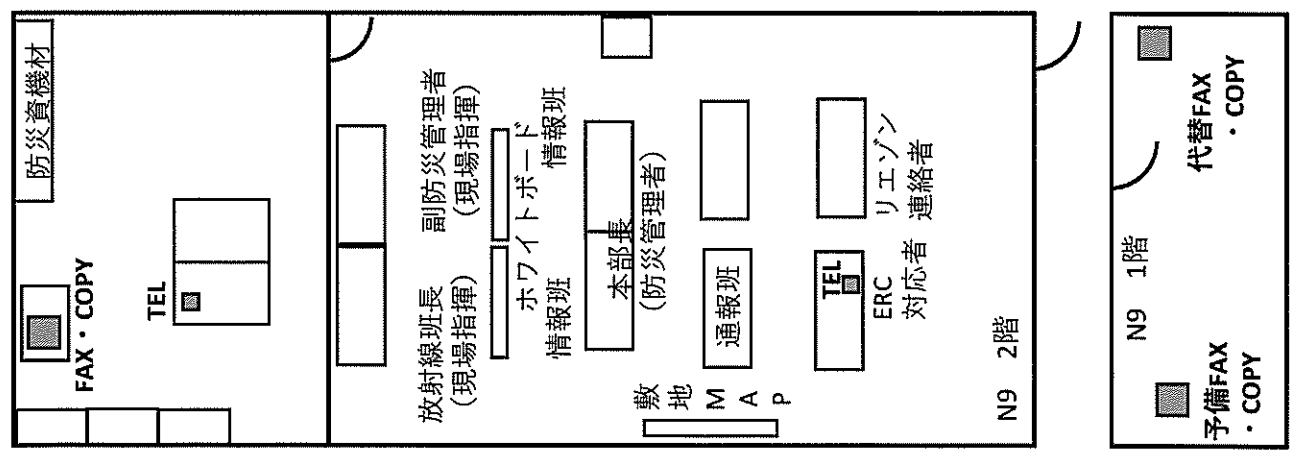
図1に評価結果を示す。情報フロー図に示す4箇所に、(1)緊対所の情報共有(2)E R Cとの情報共有に課題があった。原因分析・対策案は、表1の課題3、4、6に示す。

以上

表 1 防災訓練 課題対応資料

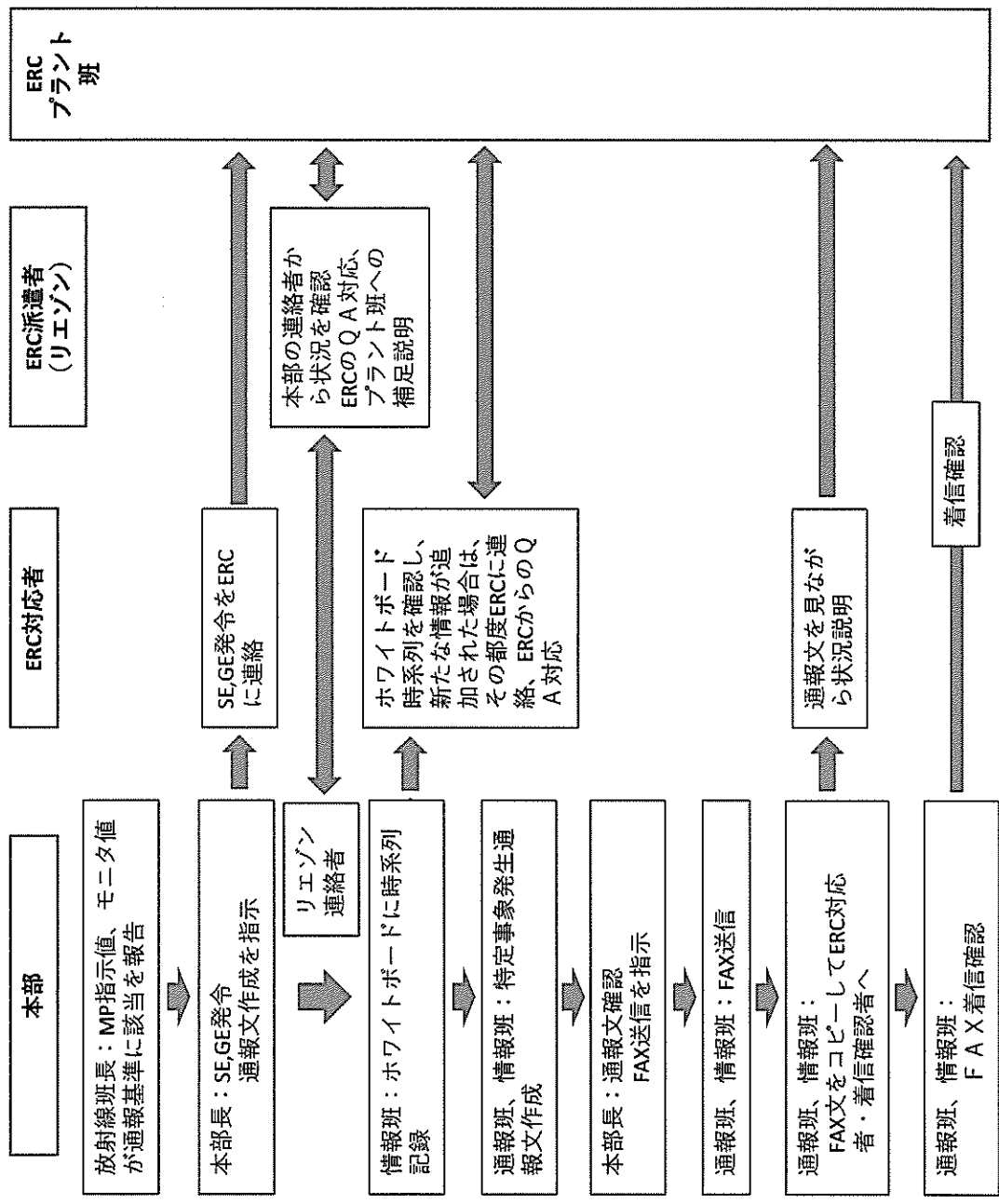
No	項目		課題の抽出	原因分析	対策案	備考
	大	小				
1	放射線情報共有	防災管理者	あるべき姿 共有すべき情報を共有する	防災管理者が放射線情報共有が理解したことを確認できなかった。 ・ERC対応者が放射線情報共有が理解したことを確認できなかった。 ・ERC対応者が放射線情報共有が理解したことを確認できなかった。	ERC対応者のレポート等を配置する。(要点の整理、正確な情報の伝達、事象推定のサポート等を行う)。教育および要緊訓練を行う。 ・ERC対応者を防災管理者の側に着席させ、防災管理者の指示が伝わるようにする。防災管理者のブリーフィング前に呼び鈴を鳴らす。マニュアルを改訂し、教育を行う。	
2	ERCとの情報共有	防災管理者	EAL基準値を下回った事実の説明	マニュアルには、「収束によるEAL非該当の連絡・防災管理者は、事態の収束を判断し、EAL非該当となった場合は、その旨をERCプラントに連絡し、EAL解除を要請する」とあり、この内容に従った。「事態の収束」=「EAL非該当」と思い込み、「特定事象の解除」を報告した。	マニュアルを改訂し、教育を行う。	
3	ERCとの情報共有	防災管理者/通報班	FAXの正確な記載 訂正情報の送付	今年度から通報班となった防災要員の教育が不足した (FAX作成訓練1回)。 ・防災管理者が「認定会議参加」社内連絡「等に時間がかかり、チェックする時間がなく、チェック漏れが生じた。 ・防災管理者が、訂正報告を送ることを理解していなかった。	新人の場合には、1点子エックが確実にできるよう訓練回数を2回に増加し、習熟度を確保する。 ・防災管理者と副防災管理者の役割分担を行って防災管理者の時間を確保し、防災管理者の子エック漏れを防止する。FAX訂正報告を送ることを、マニュアルに反映し、教育を実施する。	
4	ERCとの情報共有	防災管理者/通報班	FAXの正確な記載	マニュアルに「通常経路放出」とあり、防災業務計画に記載されている「放射線通常経路放出」と記載されず「通常経路放出」と略した。「その他特定事象に参考となる情報」欄に「特定事象の判断根拠」を記載しないなど、正確な記載ができなかった。	マニュアルを改訂し、教育を行う。	
5	ERCとの情報共有	防災管理者/通報班	重要な情報の連絡	初期通報において「原子力施設情報連絡シート」により、施設の運転状況、放射線量、負荷者情報を連絡できたが、核燃料・RIの使用状況が連絡できなかった。また、避難者情報等の連絡が遅かった。(昨年と同様の課題)	・核燃料・RIの使用状況に関しては、コントローラ情報充実させ ・事態進展に反映する。 ・事態進展に及び、ERCと共有すべき情報を子エックリスト化し、マニュアルに反映させ、教育を実施する。	
6	ERCとの情報共有	ERC対応者	EALに至るような重要な情報を選別し、進展予測をタイムリーで正確な情報の伝達	ERC対応者がERCへの発話に不熟なため、「事態の把握」や「事態の進展」を把握することができなかった。 ・防災管理者は、ERC対応者がERCへ説明している内容を把握していません。	・ERC対応者のサポート等を配置する。(要点の整理、正確な情報の伝達、事象推定のサポート等を行う)。教育および要緊訓練を行う。 ・ERC対応者を防災管理者の側に着席させ、防災管理者がERC対応者の報告状況を把握する。マニュアルを改定する。	
7	ERCとの情報共有	通話班/放射線班長	重要な情報の連絡	本部は、排気筒からの放射性物質の放出、放射線班による敷地内の放射線量モニタリング測定結果受け、周辺への影響評価を行うことができなかった。 本部の指示が遅く、スクリーニングの開始が遅れた。	事態進展に及び、ERCと共有すべき情報を子エックリスト化し、マニュアルに反映させる。また、マニュアルに防災業務計画「様式7の2」の記載例を追記する。	
8	避難誘導(避難者へのスクリーニング)	放射線班長	適切なタイミングでの指示	特定事象認定時に避難指示を出したが、スクリーニングの準備から開始まで時間がかり(1.3分)、開始が遅れた。	スクリーニングの準備の指示を早く出すよう、マニュアルを改訂する。	社内指図書事項
9	防護処置(発災場所)	放射線班長	事態進展に伴い、防護マスクの指示をすばやく行うこと	事態進展に伴い、防護装備を強化する認識がなかった。	マニュアルに放射性物質防護装備の基準を記載しているが、事態進展に伴い、防護装備の強化の必要性を記載する。教育を実施する。	社外指図書事項

緊対所内の配置



情報フロー図

- 結果：否
- 情報伝達に不備がある箇所は、赤字の4か所
- 課題・原因分析・対策は、資料①の課題3、4、6に示す。



②

2019年11月6日

東芝エネルギーシステムズ株式会社
原子力技術研究所

図1 情報フローに関する自己評価結果